

令和4年2月18日

えりも町教育委員会教育長 川上松美様

北海道えりも高等学校長 村木宗徳

次のとおり令和3年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> (1) 社会で生き抜く力を育む教育活動の推進 (2) 生徒の確かな学力の育成を図るための教育活動の推進 (3) 生命尊重の涵養と自己管理能力を育む教育活動の推進 (4) 生徒一人ひとりの進路実現に向けた教育活動の推進 |
|---|

2 自己評価結果及び学校運営協議会委員評価の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校運営協議会委員の結果
学校経営	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響で、保護者会や授業参観等のPTA活動は前年に引き続き実施できなかったが、全学年における希望制の三者面談の実施や学校ホームページや各種便り等の充実により、教育活動を知ってもらうことができた。 ・新型コロナウイルス感染症の影響で様々な制限のある中、感染症対策を徹底し、工夫をしながら、昨年度は実施できなかった学校祭や見学旅行等の教育活動を実施することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA活動ができなかったのは残念だが、三者面談等、保護者と懇談する機会を設けたことや学校ホームページ等において日頃の授業等の様子を積極的に周知したことは評価できる。 ・感染症の影響で制限がある中、工夫して学校祭や修学旅行等を実施したことは評価できる。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響は今後も続くと思われ、感染症対策を徹底した上で工夫して、教育活動は実施していく。また、保護者等には学校ホームページや各種便りの積極的な活用による学校の教育活動の周知を継続する。 	
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研修や公開授業の実施を積極的に行っているが、授業改善や観点別学習状況の評価の進捗は教科によって異なる。ただ、観点別学習状況の評価については、前期の段階で教職員全体で共通理解を図り、内規の整備は完了した。 ・クロームブックの積極的な活用等により、主体的・対話的で深い学びの授業を推進している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員が主体的に研修等を実施して、授業の研究をしていることは評価できるが、今後は組織的に学校全体で推進してもらいたい。 ・多様な生徒がいる中、クロームブックの活用等により、全員の学力を向上させていることは評価できる。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・新学習指導要領の趣旨を実現させるため、組織的に主体的・対話的で深い学びの実現を推進していく。 	
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生による小・中学生への進路講話や中高合同の進路説明会など、小中高の学びの連続性を重視したキャリア教育及び多様な進路希望に対応した充実した教育課程の編成や個別指導、課外講習を実施しているものの、広い職業観を身に付けさせるまでには至っていない。ただ、前年に引き続き就職希望者の100%内定や国公立大学2名合格等の成果を上げた。(2月17日現在) ・検定については漢検、英検2級取得など成果を上げた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路指導については、小中高が連携したキャリア教育などにより進路決定率100%や国公立大学への複数進学等、大きな成果をあげており、大変評価できる。今後は大学等に進学した生徒が就職後に他の町からでもえりも町へ貢献が可能であること等について指導してもらいたい。 ・検定についても成果を残しており、今後も継続した取組を進めてほしい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・進路については、小中高の学びの連続性を重視したキャリア教育及び個に対応した指導を一層充実させ、えりも町の産業について考えること等をとおして、広い職業観を身に付けさせる指導を推進していく。 	
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・担任や生徒指導部、管理職間での報告・連絡・相談体制の徹底や積極的な面談や家庭訪問の実施などの取組が未然防止につながっており、いじめの認知件数は0件であった。 ・基本的な生活習慣が身に付かない状況で入学してくる生徒がおり、保護者と連携した個別の指導を継続して実施していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめについては日頃の積極的な面談等の成果であり、評価できる。 ・挨拶がしっかりとできており、指導の成果が表れているのは評価できる。ただ、基本的な生活習慣については、高校入学前の段階からの指導が大切であり、中学校等と連携した取組が必要である。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校との連携を一層充実させるため中高合同会議等において、中学校と高等学校間での継続した生徒指導の在り方について、教員間で協議していく必要がある。 	

公表方法	ホームページ等で公表する。
------	---------------

3 添付資料（評価は4段階評価となっている。）
令和3年度北海道えりも高等学校学校保護者アンケート結果

